

2013 年 1 月 10 日

BMW グループの販売台数がインポーターにおいてトップに。

- 2012 年の販売台数は対昨年比で約 20%の伸びを示し、57,314 台に。
- BMW ブランドは 3 年連続で伸長し、41,102 台に。
- MINI ブランドは 3 年連続で伸長し、過去最高となる 16,212 台に。

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長: アラン・ハリス)は、同社の日本市場における 2012 年の販売実績を発表し、BMW グループの販売台数が外国メーカー輸入車でトップの 57,314 台となったことを発表した。2012 年 1 月~12 月期の BMW ブランドの販売台数は 41,102 台で対前年比約 20%増であり、MINI ブランドは約 15%増となる 16,212 台を販売した。BMW ブランド、MINI ブランド共に、2010 年から 3 年連続で、販売台数を伸ばしている。

2012 年の成功要因

1. Efficient Dynamics 戦略の加速

2012 年の成功要因は BMW Group が掲げる環境戦略「Efficient Dynamics(エフィシエントダイナミクス)」に基づいた活動が功を奏したことにある。BMW グループは同戦略目標に基づきニュー・モデルの投入を行なっているが、昨年は特に、クリーン・ディーゼル・エンジン搭載の BMW BluePerformance(ブルーパフォーマンス)モデルの投入を進め、昨年末までに 6 モデルのクリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデルを市場投入した。また、ハイブリッド・システム搭載の BMW ActiveHybrid 3(アクティブハイブリッド・スリー)、BMW ActiveHybrid 5(アクティブハイブリッド・ファイブ)を市場投入し、ハイブリッド・モデルも充実させた。これにより、BMW 3 シリーズ、および、BMW 5 シリーズは、高効率ガソリン・エンジン搭載モデル、クリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデル、ハイブリッド・システム搭載モデルと、3 つのパワー・トレインを併せ持つ日本国内唯一のモデルとなった。

2. ニュー・モデルの導入

BMW 3 シリーズ

BMW 3 シリーズは、卓越した運動性能や高い安全性、快適な居住性を確保しつつ、日本の道路事情に適応したボディ・サイズによる取り回しの良さなど、BMW の魅力が凝縮したモデルであり、プレミアム・コンパクト・スポーツ・セダンと言うジャンルを確立したモデルである。昨年 1 月にフルモデル・チェンジを実施し、第 6 世代目になったニュー BMW 3 シリーズは、新世代エンジンの搭載や、より高い俊敏性や走行安定性を実現するシャシー設計によって、よりスポーティでありながら高効率、かつ、走行快適性を大幅に改善し、真のスポーツ・セダンとして、その資質に磨きをかけ大きく進化した。このコンセプトは高い評価を受け、日本カー・

オブ・ザ・イヤー実行委員会主催の日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、BMW 3 シリーズがインポート・カー・オブ・ザ・イヤーに輝くと同時に、NPO 法人日本自動車研究者ジャーナリスト会議主催の RJC カーオブザイヤーにおいても、BMW 3 シリーズは RJC カーオブザイヤー・インポートを受賞し、日本において名誉ある二つのカー・オブ・ザ・イヤーを受賞している。

MINI

MINI ブランドは、2002 年からの MINI ビジネス開始より、昨年で記念すべき 10 周年を迎えたが、その記念すべき年に、過去最高の販売台数を記録した。主な要因としては、2011 年 3 月より本格的な販売を開始した MINI Crossover(クロスオーバー)を、昨年は通年で販売できたことが挙げられる。MINI Crossover は、MINI のラインアップにおいて初の 4 枚ドア・モデルと言うユニークなコンセプトより、国産車からの乗り換えを含めた多くの新規顧客への販売が好調である。また、2002 年には 1 モデルのみであったモデル・ラインアップは、昨年までに 6 モデルにまで拡大させ、顧客からの幅広いニーズに応えている。

さらなる躍進を目指す 2013 年

1981 年に輸入車業界初の 100%出資子会社として誕生したビー・エム・ダブリュー株式会社は、プレミアムな製品とサービスを提供する企業の現地法人として、日本のお客様のニーズに幅広く対応し、妥協しない製品とサービスを提供し続けてきている。本年も、プレミアムな価値を中心にさらにお客様のご要望に応えるとともに、Efficient Dynamics 戦略のさらなる加速と積極的な製品攻勢を実施する予定である。2013 年は、MINI ブランドより 7 モデル目となる MINI Paceman(ペースマン)を第一四半期に導入することを皮切りに、BMW ブランドからもニュー・モデルを発表する予定である。また、2013 年内には、電気駆動の次世代自動車となるメガシティ・ビークル「BMW i3(アイ・スリー)」を、発表予定である。

BMWグループについて

BMW グループは、BMW、MINI、ハスクバーナ・モーターサイクル、ロールス・ロイスというプレミアム・ブランドを擁する、自動車およびモーターサイクルのトップ・メーカーの一つであり、世界 14 カ国に 29 の製造工場を有し、140 カ国以上に販売網を構築しているグローバルな企業である。

2011 年における自動車総販売台数は 167 万台、モーターサイクルは 11 万 3 千台となっている。2011 年度の売上高は 688.2 億ユーロ、税引前利益は 73.8 億ユーロを計上した。また、2011 年 12 月末時点における従業員数は約 10 万名である。

BMW グループは常に長期的な視野と責任ある行動を企業の指針とすることで成功をおさめており、その結果、すべてのバリュー・チェーンにおける環境的および社会的持続性、責任のある製品作り、さらには資源保護に対する明確なコミットメントを企業戦略の不可分な要素と

して確立している。このような努力が実を結び、BMW グループはダウ・ジョーンズ・サステイナビリティ・インデックスの自動車部門において、8 年連続でトップに選定されている。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター: フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。

受付時間: 9:00-20:00 年中無休

BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:

BMW Japan Corp. 広報室: 03-6259-8025 (企業広報)